

## **特定非営利活動法人 NGO 福岡ネットワーク (FUNN) 2012 年度事業報告**

2012年度は、2011年度～2013年度の活動計画を示した中期計画「FUNN20th」の2年目として、重点施策である「国際協力に関する市民・行政・企業との連携・協働」「財政基盤を強化し、事業活動の継続・発展」に重点を置き、活動を実施しました。

### **■「国際協力に関する市民・行政・企業との連携・協働」**

#### 地域社会への国際協力に関する学習機会の提供

2012年度は、2006年以来2度目のNGO活動担い手育成事業として「国際キャリアデザイン研修」を開催しました。国際協力の最初の入り口である「NGO入門講座」「倶楽部FUNN」、国際協力に関心のある方に向けた学びの場である「NGOカレッジ」、国際協力の仕事に興味関心のある人を対象とした「国際キャリアデザイン研修」と、関心の度合いに合わせたプログラムを企画・提供することができました。

#### 行政・教育機関・地域社会との連携

NGO活動の認知度向上、参加促進、活動の拡充などを目指し、大学や企業との連携推進活動の一環として、それぞれをテーマとした公開シンポジウムを開催しました。大学、企業共にNGO活動の重要なパートナーとなり得るアクターとして対話を行い、より良い連携・協力が生まれていくための場をコーディネートしました。連携による成果や効果を相手先に望むばかりでなく、NGO自らが組織基盤の強化や信頼性の向上に努めていくこともまた、より良い連携に求められる重要な要素であることが分かりました。

### **■「財政基盤を強化し、事業活動の継続・発展」**

#### 支援者拡大・認定NPO法人を視野に入れた寄付獲得活動

2012年度は、中期計画において策定したとおり、財政基盤強化による事業活動の継続・発展を重視し、支援者拡大への取り組みの実施・認定NPO法人を視野に入れた寄付獲得活動を実施しました。

新規助成金の申請や収益事業につながる取り組み等を実施することができましたが、理事や職員による支援者拡大・寄付獲得の活動はほとんど実施することができませんでした。こうした取り組みを優先・重点的に実施していくのであれば、まずは組織全体が寄付や会員の獲得活動に対する意識を持ち、具体的な取り組みを共有して実行していく姿勢が求められます。

## 事業報告 目次

- 1 2012年度事業別報告
  - 1-1 NGOへの支援・協力・サポート
  - 1-2 国際協力に関する調査・研究、政策提言活動
  - 1-3 国際協力に関する市民・行政・企業との連携・協働
  - 1-4 広報活動の支援・実施
- 2 財政基盤の強化
  - 2-1 財政基盤を強化し、事業活動の継続・発展
- 3 組織・運営の強化
  - 3-1 人材の確保・育成、組織運営の基盤強化
- 4 組織
  - 4-1 組織運営・体制
  - 4-2 会員

## 1. 2012年度事業別報告

### 1-1. NGO（主に加盟団体）への支援・協力・サポート

担当：事務局

#### 1-1-1. 2012年度の方針

情報提供と組織・能力強化支援を中心に、日々の活動において必要となる情報や知識等を提供し、団体活動の活性化を目指します。

#### 1-1-2. 2012年度の活動

##### ① 助成金、NGO活動に資する情報の提供

###### ■ 情報提供や人材紹介

###### ・実施内容

メール、ファックス、機関誌、ホームページ等を通して、NGO関連情報や助成金情報提供、人材・ボランティア紹介などを行いました。

###### ・評価／課題

滞ることなく、加盟団体の情報や他NGOに関連する情報を発信することができました。現在は独自で情報検索をすることが多く、そのため発信・提供する情報量が少ないことから、情報を効率的に収集できる工夫を検討実施することが課題として挙げられます。

###### ■ 助成金に関する支援策

###### ・実施内容

助成金や補助金の資料のまとめを実施しました。

###### ・成果／課題

2012年度でまとめた情報をいかに活用し支援策としていくか（とりわけ加盟団体に対してどの段階までの支援メニューとして実施していくか）の検討実施が今後の課題として挙げられます。

##### ② 加盟団体NGOの組織・能力強化の支援

###### ■ 加盟団体スタディツアーの広報活動

###### ・実施内容

2012年度は合同説明会という形を設けず、FUNNが開催した事業の参加者や、国際協力に興味関心のある学生に的を絞った広報活動を実施しました。

###### ・成果／課題

広報媒体での広報支援や、NGO 活動担い手育成事業（講座・ボラタン）や大学の授業におけるピンポイントの広報活動により、特に学生を中心とした広報支援を取り組むことができました。今後は関心層に対するピンポイントの広報活動も継続させながら、大学等と協力をした広範囲での広報活動も検討していきます。

## ■ スタディツアー

### ・実施内容

(特活) 明日のカンボジアを考える会・くるんて〜ぷの会の協力のもと、カンボジアとタイを訪問するスタディツアーを下記要領で開催いたしました。

スタディツアー詳細	
訪問先	カンボジア・タイ
期間	9月2日～12日
参加者数	12名(加えて2名がコーディネーターとして同行)
企画	(特活) NGO 福岡ネットワーク
協力	(特活) 明日のカンボジアを考える会 くるんて〜ぷの会



▲スタディツアーの様子

### ・成果／課題

長きにわたってスタディツアーを開催してきた加盟団体の協力により、大きな事故もなくスタディツアーを開催することができました。近年は参加者が減少していた加盟団体のツアーを、FUNNが主体となって他の加盟団体を加えた3団体合同で開催することにより、各団体にとっては多くの参加者に自団体の活動現場や支援先の状況を知ってもらえたことは大きな成果と考えられます。今後は加盟団体のスタディツアーに関するニーズ等も調査し、加盟団体支援としての視点での開催も視野に入れていくことが必要とされます。

## ■ 能力向上支援

### ・実施内容

JICA地球ひろば「地域NGO提案型研修」に企画を申請しましたが、手続きに時間が取られてしまい、結果、準備・実施・報告までの期間が1カ月程度しかなかったことから、開催は現実的ではないと判断し、残念ながら実施には至りませんでした。

## 1-2. 国際協力に関する調査・研究、政策提言活動

担当：ワーキンググループ 担当理事：楠原圭子

### 1-2-1. 2012年度の方針

NGOのネットワークとして、NGOや市民全体にかかわることに関して、ワーキンググループのもとで調査・提言活動に取り組みます。

### 1-2-2. 2012年度の活動

#### ① 国際問題の調査・研究および国際機関・政府等への政策提言活動

##### ・実施内容

FUNNとしての政策提言活動のあり方や委員会の活動について検討を行ったが、2012年度は具体的な活動には至らなかった。

### 1-3. 国際協力に関する市民・行政・企業との連携・協働

担当：連携・協働委員会 担当理事：藤井大輔

#### 1-3-1. 2012年度の方針

2011年度に培われた各組織との関係性を維持し、連携の意義や目的をより具体的にしながら活動に取り組んでいきます。

#### 1-3-2. 2012年度の活動

① 地域社会への国際協力に関する学習機会の提供

##### ■ 倶楽部FUNN

・実施内容

国際協力の理解促進と、国際協力に関心のある人たちが出会い交流を深めることを目的に、学びとコミュニケーションの得られる場を毎月開催しました。

日にち	タイトル	講師	場所	参加者数
4/13	「FUNN交流会」		びおとーぷ	18名
5/11	「九州から踏み出す世界への一歩 ～世界 3000ヶ所と繋がる国際ワークキャンプのススメ～」	河津舞さん(九州国際ワークキャンプセンター (NICE九州事務局) 事務局長)	同上	11名
6/8	「いのち・暮らし・開発-救急医療の活動からカンボジアの開発援助を考える」	大坪加奈子さん(九州大学大学院博士後期課程・元TICO職員)	同上	13名
7/6	「国連ハビタットを通じて、九州の環境技術をアジアに移転する」	星野幸代さん(国連ハビタット福岡本部)	同上	27名
8/3	「国際協力・NGO交流会」		IPホテル1階 レストランファミリア	13名
9/14	「貧困とエイズに苦しむアフリカ・ザンビアの子どもたちを訪ねて」	高松千博さん(Save the African Children 代表)	びおとーぷ	18名
10/5	「カンボジアに魅せられて」	塩澄文子さん(明日のカンボジアを考える会会員)	同上	9名
11/2	「アジア女性センターの活動とその理念について」	柿原理香子さん((特活)アジア女性センター事務局)	同上	12名
12/2	「アイラブアフリカ～西アフリカのギニア・ビサウという国を知っていますか?～」	馬場菊代さん((特活)エスペランサ代表)	同上	11名
1/18	「2013年新年会」		ぞうお天神店	24名

2/1	「マラウイ共和国 5 歳未満児の栄養改善プロジェクトについて」	山崎裕章さん（社会医療法人雪の聖母会聖マリア病院/NPO 法人 ISAPH）	びおとーぷ	9 名
3/1	「学生ボランティアの楽しみ！」	湯川洋久さん	同上	11 名

・成果／課題

2012年度は、4月・8月・1月を講師を設けない交流の会として開催しました。講師を設ける通常の倶楽部FUNNに来ていただいた参加者が交流の部に参加することでその後もより深く関わるようになるなどの相乗効果を作ることができました。2013年度に5年目を迎える事業のため、目的の明確化、成果の獲得、マンネリ化からの脱却などが課題として挙げられます。



▲4 月倶楽部 FUNN



▲7 月倶楽部 FUNN

■ NGO入門講座

・実施内容

国際協力の理解・参加促進を目的に、NGOや国際協力に関心のある人や実際の参加・行動に結びついていない人を対象とした講座を開催しました。2012年度は4月から3月まで、1年間を通して計12回開催し、合計27名の方に参加していただきました。

・成果／課題

少人数を対象としていることから、1対1の細やかなコミュニケーションを取ることで、インターンへの応募、イベントや講座への参加、ボランティアへの参加など、多くの参加者を次のステップに繋げるという目標を達成することができました。



▲入門講座の様子

■ NGOカレッジ

・実施内容

国際協力の理解促進を目的に、NGO や国際協力に関心のある人を対象とした連続講座を開催しました。2012年度は「幸せのかたち～国際協力のあり方を考える～」をテーマとし、異文化理解・国際理解を深めること、より良い開発や社会を実現するために身近なことからできることを考える機会として開催しました。

回・日時	タイトル	講師	場所	参加者数
第1回 11/17(土) 14時～17時	ファイnderからのぞいた世界～私たちの知らない“今”～	安田菜津紀さん (studioAFTERMORDE所属フォトジャーナリスト)	リファレンス駅東ビル K会議室	32名
第2回 11/18(土) 13時～17時	世界の幸せを考える～未来をつくる私の一歩～	大野博之さん (認定NPO法人地球市民の会専務理事兼事務局長)	リファレンス駅東ビル K会議室	17名
<p>■参加費：部分参加(1回) 一般：2,000円/会員・学生：1,500円          全回参加 一般：3,500円/会員・学生：2,500円※会員=FUNN正会員団体・FUNN会員          ■後援：福岡県、福岡市、福岡県教育委員会、福岡市教育委員会、(財)福岡国際交流協会、独立行政法人国際協力機構</p>				

#### ・成果/課題

2012年度も国際協力に関心のある人材を発掘することができました。依然として集客面での課題はありますが、講座自体は満足度の高い評価となりました。今回で14期を迎えたNGOカレッジですが、第1期が開催された社会と現在の社会状況、重要視されるトピックなどは大きく変化しています。こうした状況において本事業をどのように位置付け、これからどのように展開していくのか？ということこれから模索していくことが求められています。



▲1日目講師の安田奈津紀さん



▲2日目のワークショップの様子

#### ■ NGO人材育成研修

##### ・実施内容

2006年以来2度目の開催となるNGO活動担い手育成事業「国際キャリアデザイン研修」を開催しました。定員20名を超える22名の方に参加いただき、およそ半年間の講座を開催しました。「国際協力を知る」「国際協力の仕事を学ぶ」「キャリアを考える」「スキルを身につける」の4つのステップの講座を開催すると共に、6つの受け入れNGOの中から1つを選び半年間のインターンシップを行うプログラム(通称：ボラタン)も実施しました。

回・日時	タイトル	講師	場所
第1回 10/21(日) 14時～17時	「世界が広がる考え方」	リディア・ハンキンスさん(西南学院 宗教主事)	福岡市 NPO・ボランティア 交流センター「あすみん」セ ミナールーム
第2回 10/27(土) 14時～17時	「国際協力入門」	高橋良輔さん(佐賀大学文化教 育学部 准教授)	福岡市 NPO・ボランティア 交流センター「あすみん」セ ミナールーム
第3回 11/23(金・ 祝) 14時～17時	「国際協力仕事図鑑」	古川純平さん(一般社団法人カ ンボジア地雷撤去キャンペーン事務 局長) 星野幸代さん(国連ハビタット福 岡) 伊藤友美さん(独立行政法人国 際協力機構(JICA)九州国際セ ンター研修業務課副調査役)	福岡市人権啓発センター (ココロンセンター) 研修 室
第4回 12/8(土) 14時～17時	「キャリアプランの考え 方」	松尾沢子さん((特活)国際協 力 NGO センター広報グループ・能 力グループマネージャー) ファシリテーター 藤井大輔さん(九州国際大学国 際関係学部助教・副学部長)	ももちパレス特別会議室
第5回 12/22(土) 10時～18時 50分	「キャリア相談会」	藤井大輔さん(九州国際大学国 際関係学部助教・副学部長)	福岡NPO共同事務所 「びおとーぷ」
第6回 1/26(土) 14時～17時	「キャリアプラン作成」	藤井大輔さん(九州国際大学国 際関係学部助教・副学部長)	福岡市人権啓発センター (ココロンセンター) 研修 室
第7回 2/16(土) 14時～17時	「ファシリテーション研修」	荒川共生さん(ボルネオ保全トラ ストジャパン理事/関西 NGO 大学 運営委員)	正友ビル3階会議室
3/2(土) 15 時～16時 30 分	「修了式」		福岡NPO共同事務所 「びおとーぷ」
<p>■ボラタン</p> <p>期間：10月21日(土)～3月2日(土)</p> <p>活動日・頻度：団体との相談によって決定</p> <p>活動内容：各団体によって異なる(例.イベントスタッフ、会報発送作業、会議参加など)</p> <p>受け入れ協力団体：一般財団法人カンボジア地雷撤去キャンペーン、くるんて〜ぷの会、NPO 法人チエルノブ イリ医療支援ネットワーク、九州国際ワークキャンプセンター(NICE九州)、(特活)バングラデッシュと手をつな</p>			



## ぐ会、(特活) NGO 福岡ネットワーク

■参加費：一般 25,000 円／学生 20,000 円

■後援：福岡県、福岡市、福岡県教育委員会、福岡市教育委員会、(財)福岡県国際交流センター、(財)福岡国際交流協会、独立行政法人国際協力機構九州国際センター

### ・成果／課題

国際協力分野での就職に関する相談の増加、特に学生からのニーズを感じたことが本事業の開催背景であり、予想を超える反響と申し込み数がありました。複数の成果目標を設定していましたが、その中でも特に顕著な成果として現れたのは「国際協力活動や、それらに従事する職業に対する理解促進」でした。

一方で、複数の目的・成果目標の設定によりそれぞれの目標達成が十分に行われず、目的と成果のコンパクト化が今後の課題として挙げられました。また、長期にわたる研修のためモチベーション維持の工夫や、参加者によって異なるレベルや獲得目標にあわせたオーダーメイド型の研修の検討なども課題だと言えます。



▲研修の様子



▲修了式にて研修参加者と

## ② 行政・教育機関・地域社会との連携

FUNNの持つ実績や強みなどを整理・可視化し、加盟団体の専門性・信頼の向上といった能力強化を目指し、大学や企業を中心に連携や協力の働きかけを行います。

### ■ 外務省「NGO相談員」

#### ・実施内容

外務省 NGO 活動環境整備支援事業『NGO 相談員』を受託し（2012年4月2日～2013年3月29日）、市民からの NGO、国際協力に関する相談業務を行いました。

#### ・成果／課題

年間 462 件の相談があり、そのうち「NGO・NGO 活動について」の相談が 119 件と、最多となりました。また、相談者は学生がもっとも多く、157 件となりました。件数としては前年度と比較して 100 件程度減少しています。その要因としては前年度の東日本大震災の影響による件数増加も一因として考えられますが、相談員制度自体の広報不足も要因として考えられます。

今後は相談制度においてサービスとして実施できることを、より広く周知させることが課題として挙げられます。

### ■ NGO相談出張サービスおよび各種イベント参加

#### ・実施内容

市民からの相談対応、他団体や来場者との交流を目的に、各種イベントに積極的に参加・出展を行います。

した。実施内容は下記となります。

出張サービス以外にも、BOP ビジネス研究会、ハートフルフェスタ、ふくおか共助社会づくりフェスタ/KBC ラジオ「PAO～N」、あすばるフォーラム等、様々なイベントにも参加いたしました。

◇NGO 相談出張サービス

日にち	企画名	主催者/依頼者	場所	相談員	相談件数/形態
7/25	福岡市国際教育研究会	福岡市国際教育研究会	福岡市立飯倉中央小学校	本田	2件 講演
8/11	第7回国際ボランティアワークキャンプ in ASO	国際ボランティアワークキャンプ実行委員会	国立阿蘇青少年交流の家	原田 多原	20件 相談対応
9/28-9/29	地球の上に生きる2012DAYSJAPAN フォトジャーナリズム写真展 in 北九州	独立行政法人国際協力機構九州国際センター JICA デスク北九州	小倉井筒屋新館 9階パステルホール	多原	6件 相談対応
10/28	ながさき国際協力・交流フェスティバル	独立行政法人国際協力機構九州国際センター JICA デスク長崎	出島交流会館	多原	6件 相談対応
11/10-11/11	国際協力フェスタ「地球市民どんたく2011」	「地球市民どんたく2012」実行委員会 公益財団法人福岡国際交流協会	アクロス福岡 2階「交流ギャラリー」、「セミナー室」	原田 本田	13件 相談対応
1/11	九州国際協力推進員会議内プログラム「ネットワーク NGO との意見交換会」	独立行政法人国際協力機構九州国際センター JICA 所長村岡敬一	JICA 九州セミナールーム	多原 本田	3件 相談対応

・成果／課題

他団体主催のイベントに出張／参加することにより、関係者との繋がりをつくることができ、普段あまり接点のない人々へ国際協力啓発・NGOの広報をすることができました。今後は出張サービスを広報していくことにより、多くのイベントに出張し、繋がりを作っていくことが課題として挙げられます。



▲出張サービスの様子



▲KBC ラジオ出演の様子

■ 講師派遣・アレンジメント

・実施内容

大学や小中高校での総合学習の授業や公民館、市民・他団体の取組・企画に講師を派遣しました。

・成果／課題

今年度は下記の9つの取組・企画に講師派遣を行うことができました。

佐賀大学「国際協力論」、壱岐中学校「総合学習」、城香中学校「国際理解教育」、福岡女学院大学「NPONGO論」、福岡ローターアクトクラブ、九州国際大学「国際協力実践論」、九州国際大学「夢カフェ」、福岡市国際理解研究会

■ 大学での授業の担当

・実施内容

佐賀大学「国際協力論」において当団体事務局長の原田が非常勤講師となり、下半期週1回の授業を担当しました。

・成果／課題

実施をする中で、昨年度に引き続き加盟団体へその他国際協力関係者と連携することができました。また受講生は47名と、昨年度と比較して多くの学生に国際協力に関心を持ってもらうことができました。

■ 2012年度 外務省NGO研究会「大学とNGOの連携」

・実施内容

大学とNGOの連携について調査を行い、中小規模のNGO側の視点から検討を加え、そこから得られた知見をNGOの組織力強化とスタッフの能力向上につなげることを目的に、昨年度に引き続き、高橋理事・藤井理事による調査研究・報告書作成、さらに2012年度は福岡での研究会開催を行いました（同研究会の委託団体は（特活）関西NGO協議会）。また、研究成果の発表と社会還元を目的としたシンポジウムを下記要領で開催しました。

シンポジウム詳細	
日時	2月21日（木）18:30～21:00
場所	西南学院大学 西南コミュニティーセンター（福岡県福岡市早良区西新 6-2-92）
主催	外務省

各回 NGO 研究会概要は下記となります。

回・日時	場所	参加者
第1回 11/20（火）17時～21時	冷泉荘レンタルスペース 2コ1多目的スペース	16名
第2回 1/16（水）13時～14時半	国立大学法人佐賀大学文化教育学部 1号館2階6号教室	48名
第3回 1/23（水）14時～15時半	西南学院大学 コミュニティセンター 会議室	16名

## ・成果／課題

本年度は、3回の研究会によって地域のNGO、大学生・教職員の具体的なニーズとシーズを抽出しながら両者のマッチングを図り、最終的にシンポジウムでは3提案5事業の開発教育プログラムをNGO側から大学へ提案することができました。

今後は、過去2年間にわたって調査研究を行ってきた本テーマについて、研究会を通して構築された大学との関係性を維持しながら継続して働きかけ、取り組んで行くことが求められます。



▲NGO 研究会の様子



▲シンポジウムの様子

## ■ JICAとの連携

### ・実施内容

JICA九州や「地域のJICA窓口」である国際協力推進員と日頃から連絡を取り、協力に向けた意見交換等を行いました。また、九州の推進員が集まる推進員会議にも定期的に参加し、FUNNの活動やNGO相談員制度の紹介、協力の可能性等について話し合いを行いました。

## ■ 「動く→動かす」(GCAP Japan)

### ・実施内容

「世界から貧困をなくそう」「ミレニアム開発目標を達成しよう」という声を政策提言やキャンペーンにいかしていくために設立されたNGOのネットワークに、引き続きフレンズ会員として参加しました。

## ■ 地域ネットワーク活動

### ・実施内容

福岡NPO共同事務所「びおとーぷ」、福岡国際関係団体連絡会（FUKU-NET）、福岡市人権啓発センター（ココロセンター）、福岡県国際交流センター、福岡市NPOボランティア交流センター「あすみん」などFUNNが加盟・登録しているネットワークの連絡会や交流会に参加し、情報交換、連携促進を図りました。

## ■ 新年会

### ・実施内容

2012年度は1月の倶楽部FUNNにて開催いたしました。※詳細は倶楽部FUNN参照

### ③ CSR事業及び企業との連携

福岡・九州におけるNGOと企業の連携の現状を踏まえ、CSR事業に取り組むための「土台」作りを行い、連携の形を模索します。

#### ■ NGOと企業の連携推進ネットワーク

##### ・実施内容

NGOと企業の相互理解を促進し、より良い効果的なCSR活動が実施されることをめざして活動している「NGOと企業の連携推進ネットワーク（旧CSR推進NGOネットワーク）」（事務局：（特活）国際協力NGOセンター（JANIC））に参加しました。

#### ■ 企業との協力関係の構築

##### ・実施内容

2012年度は（特活）国際協力NGOセンター（JANIC）／NGOと企業の連携推進ネットワークとの共催で、連携の基礎を学ぶこと、両者が出会い知り合うことを大きな目的とし「NGOと企業の連携シンポジウム」を開催しました。開催概要は下記となります。

シンポジウム詳細	
日時	2月7日（木）14:00～17:00
場所	福岡市 NPO ボランティア交流センター「あすみん」セミナールーム
講師	富野岳士さん（（特活）国際協力 NGO センター 事務局次長） ファシリテーター：藤井大輔（FUNN 副代表）
共催	（特活）NGO 福岡ネットワーク（FUNN）、（特活）国際協力 NGO センター（JANIC） ／NGOと企業の連携推進ネットワーク
助成	連合・愛のキャンパ
参加者	27名（企業6社6名、NGO/NPO9団体11名、一般/大学生10名）

##### ・成果／課題

2009年度以来2回目となる企業とNGOの連携をテーマとしたシンポジウムを開催することができました。テーマや狙いについては福岡地区の企業とNGO連携の現状をもとに設定することで、両者による連携が空想のものではなく現実的に可能であり目指すことのできるものであると感じてもらえるように工夫しました。それにより、連携の意義や必要性を学んでいただき、また両者が出会いお互いを知るというファーストステップとなりました。

とはいえ、シンポジウムに参加するNGOや企業の数が少ないことは課題として挙げられます。また、今回のシンポジウムを通して得られた企業とのつながりを絶やすことなく、今後も継続して取り組むことが重要となります。



▲NGO 研究会の様子



▲講師の富野さん

## 1-4. 広報活動の支援・実施

担当：広報委員会 担当理事：弥栄睦子

### 1-4-1. 2012年度の方針

FUNNと加盟団体の広報支援活動を行うことで、国際協力（FUNNや加盟団体）に関わってくれる人材を増やし、FUNNの活動や加盟団体の活動の活性化につなげることを目指します。

### 1-4-2. 2012年度の活動

#### ① FUNNの広報活動

今年度はHPリニューアルに向けた活動を中心に、FUNNや加盟団体の活動に関わる人材を増やすことのできるような広報活動を行っていきます。

##### ■ HPリニューアルに向けての活動の実施

###### ・実施内容

2012年度は次年度のリニューアルに向けて、現在のウェブサイトの現状把握／問題点の洗い出し・新HP案の検討を実施しました。

###### ・成果／課題

現状把握はできましたが、新HP案に関しては、次年度が20周年ということもあり、新たなビジョンやミッション、これから市民に何を伝えていくべきか？等をFUNN全体で考えた後、検討作成していくべきという結論となりました。

##### ■ 国際協力ニュース

###### ・実施内容

今年度も隔月の作成・発行を実施し、より一般の方に読んでもらえるような広報誌を目指し作成しました。※100号を20周年記念号（拡大版）として作成したため、2月の作成・発行は見送っています。

###### ・成果／課題

2012年度は職員・インターンの2名体制での作成・発行を行いました。FUNNの活動についての報告・加盟団体のイベント情報や活動報告の掲載は引き続き行いましたが、それ以外にも多様な国際協力や世界の現状について、読みやすく伝えることができました。

##### ■ リーフ・メルマガ・ウェブ

###### ・実施内容

FUNN紹介のリーフレットについて、加盟団体の情報を掲載した印刷物の情報アップデートを行い、会員・関係団体への送付、公共機関への設置依頼、講座・イベントなどでの配布を随時行いました。

###### ・成果／課題

適宜情報をアップデートし、配布をすることができました。

#### ② FUNN加盟団体の広報活動の支援

加盟団体に対して、ウェブや機関紙での広報に加え、個別に広報支援のできる方法を検討・実施していきます。

#### ■ 広報診療所

##### ・実施内容

2012年度は講座やイベントの形での開催はなく、個別に広報への相談を行いました。

##### ・成果／課題

今後も必要に応じての実施をしていくことが課題とされます。

#### ■ 広報マニュアル

##### ・実施内容

イベント実施時などにおいて必要とされる広報媒体や情報の配信先、新聞への掲載の仕方など広報における情報の蓄積を行いました。

##### ・成果／課題

2012年度に行った情報の蓄積をまとめ、次年度において情報発信し、広報支援としていくことが今後の課題として挙げられます。

## 2 財政基盤の強化

### 2-1. 財政基盤を強化し、事業活動の継続・発展

担当：財政委員会 担当理事：高松千博

#### 2-1-1. 2012年度の方針

財政基盤の強化を目指して 2011年度に検討・作成された方策や資料をもとに、それらを達成するための活動に取り組みます。なかでも、寄付や会員を獲得するための活動を中心的に実施していきます。

#### 2-1-2. 2012年度の活動

##### ① 会員の獲得

#### ■ 会員獲得に向けた対外的活動の実施

##### ・実施内容

正会員の候補となり得る団体のリストアップ、会員の満足度向上を意識した依頼・お礼・報告を実施しました。

##### ・成果／課題

会員の方々に対する依頼・お礼・報告を意識した対応により、滞りなく会費をいただくことができました。しかし、新たな正会員団体・個人企業会員獲得活動の実施はできませんでした。その要因としては、会員獲得を優先に動く意識を持った人材の不足であり、その意識を持った人材を増やし活動を活発化させていくことが課題として挙げられます。

#### ■ 賛助企業会員

##### ・実施内容

賛助企業会員制度を新設し、リーフレットや広報誌等で広報を行いました。

・成果／課題

2012年度は賛助企業会員の申し込みはなかったため、会員制度自体のさらなる周知・広報活動を実施していくことが、まずは課題として挙げられます。

■ 理事・職員による支援者獲得活動の実施

・実施内容

認定NPO法人申請を意識し、理事への寄付協力依頼、獲得活動に取り組みました。

・成果／課題

理事による支援者獲得活動により、2名の新会員を獲得することができました。しかし、その協力もごく一部の理事のみであり、組織全体として支援者獲得活動を実施することはできませんでした。支援者獲得を団体として優先的に取り組んでいくのであれば、まずはFUNNとして会員獲得活動に対する意識を持ち、具体的な活動を展開していくことが求められます。

② 寄付・助成金の獲得

■ 寄付・助成金の獲得に向けた対外的活動の実施

・実施内容

助成金候補をリストアップした資料の中から、人件費を申請可能な助成金1件と、その他既存の事業へ使用できる助成金1件の申請を行いました。申請を行った助成金は下記となります。

一般財団法人 大竹財団「大竹財団助成金」／公益財団法人 西日本国際財団「国際化助成事業」

・成果／課題

2件中1件は申請が採択されましたが、FUNNが活用できる助成金の総数そのものが少ないため、可能な限り既存の事業において助成金の申請ができるように事業内容を工夫することが課題として挙げられます。

■ 仮認定NPO法人の申請

仮認定NPO法人の検討（認定NPO説明会への参加等）を行ないましたが、申請に必要な寄付者の数が奮わなかったため、2012年度は申請を見送ることとなりました。

③ 収益事業活動の強化・充実

収入増に繋がる活動の導入を図り、FUNNの安定的な経営を目指します。

■ 未使用切手、書き損じハガキ等の収集

・実施内容

未使用切手、書き損じハガキ、テレホンカード等を広報誌等で募集し、収集を行いました。

■ フリーマーケットへの参加

・実施内容

商品の収集等早期の取り組みを行い、「ハートフルフェスタ2012」「あすばるフォーラム」のフリーマーケットへの参加を行いました。



### 3 組織・運営の強化

#### 3-1. 人材の確保・育成、組織運営の基盤強化

担当：事務局

##### 3-1-1. 2012年度の方針

2012年度も引き続き、組織を整え、その運営や発展に資する人材確保・育成の為の施策を行うことで、望ましい組織運営を目指していきます。

##### 3-1-2. 2012年度の活動

###### ① 各委員会等組織の基盤強化

職員の人材確保・育成の施策のための活動に取り組み、FUNNを運営する人材の働く環境や能力の向上を図ります。

###### ■ 課題の調査

###### ・実施内容

今年度は実施に至りませんでした。

###### ■ 待遇の整備

今年度は実施に至りませんでした。

## 4.組織

### 4-1. 組織運営・体制

中期計画の重点施策を推進する委員会（連携・協働委員会、財政委員会、広報委員会）を設置し、事務局や理事会との連携を図りながら運営を行ないました。担当理事はそれぞれ、藤井大輔、高松千博、弥栄睦子。

事務局が行う業務を管理し、必要に応じて相談・アドバイスを行う事務局担当理事は高橋良輔。

### 役員

【代表】 ニノ坂保喜／（特活） Bangladesh と手をつなぐ会 代表

【副代表】 藤井大輔／債務と貧困を考えるジュビリー九州 代表、九州国際大学国際関係学部助教  
津島朋憲

【理事】 大谷賢二／一般財団法人カンボジア地雷撤去キャンペーン 理事長  
河上雅夫／NPO法人チェルノブイリ医療支援ネットワーク 理事長  
楠原圭子／アジア開発銀行福岡NGOフォーラム 事務局  
倉富隆／フレンズ国際ワークキャンプ九州  
高橋良輔／佐賀大学文化教育学部准教授  
高松千博／Save the African Children 代表  
龍本昌平／債務と貧困を考えるジュビリー九州 事務局長  
原田君子／くるんて〜ぶの会 代表、（特活）NGO福岡ネットワーク事務局長  
古川純平／一般財団法人カンボジア地雷撤去キャンペーン 事務局長  
弥栄睦子／インドネシアの子供の教育を救う会 副会長兼事務局長  
ラフマン・モクレスール／（特活） Bangladesh と手をつなぐ会 理事

【監事】 安部昌明／（特活）明日のカンボジアを考える会 代表

«事務局» 事務局長 原田君子  
事務局員 本田正之、多原真美  
会計 岩本直子  
インターン 木下智子、佐藤大智、柴田幸子、河野雅也、宮城育美、リリー・トゥーヘル、

■ 通常総会：2013年5月27日（日）福岡NPO共同事務所「びおとーぷ」共同大会議室

■ 通常理事会：隔月1回

■ 事務局会議：毎週1回

## 4-2. 会員

### 正会員（全23団体）

アジア開発銀行福岡NGOフォーラム（FNA）  
（特活）アジア女性センター  
（特活）明日のカンボジアを考える会  
アフリカくらぶ  
インドネシアの子供の教育を救う会  
認定NPO法人ACE  
（特活）エスペランサ  
（財）カンボジア地雷撤去キャンペーン  
くるんて〜ぶの会  
コミュニティ コミュニケーション・サポートセンター（Commu）  
債務と貧困を考えるジュビリー九州  
JVC九州ネットワーク  
Save the African Children  
（特活）ソルト・パヤタス  
認定NPO法人地球市民の会  
NPO法人チェルノブイリ医療支援ネットワーク  
（特活）NICE  
ネパール歯科医療協力会（ADCN）  
（特活）バングラデシュと手をつなぐ会  
バングラディッシュピルガゾン村診療所実行委員会  
PP21ふくおか自由学校  
（財）福岡YMCA  
フレンズ国際ワークキャンプ九州（FIWC九州）

### 個人会員

賛助会員（個人） 10名  
賛助会員（団体） 0  
通信会員 28名

以上